

# （事業者向け）放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月15日

事業所名 COMPASS発達支援センター 大村

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動スペースは十分に確保されていますが、より利用児童が動きやすい導線確保して、収納等を設置しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令で利用児童数に応じた職員数が決まっていますが、それ以上の職員を配置して対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			当事業所の療育スペースは既にバリアフリーですが、事業所自体は2階であるため、階段には手すりを設置し、移動の際には職員が必ず付き添い、安全に配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			前日の振り返りを行い、職員同士の情報共有を行っています。また、毎月会議を行い、より深く内容を討議し、全員で参画しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表でのご意見はもとより、保護者様からのお問い合わせや質問、ご相談内容をもとに活動内容やスペース等、様々な改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表については、ホームページで公開し、また事業所内にも掲示しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員を選任し、必要に応じて外部評価を行えるよう準備をしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			資格取得を目指すキャリアアップ制度や、研修部会への参加、意見交換など、常に資質の向上を図っております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童の成長に合わせ課題を検討し、保護者様のニーズに合わせた支援計画を作成し、実施しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			面接、モニタリング時には統一されたチェックシートで状態を把握し、保護者様の意向も確認しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で話し合いながら計画を立案し、より良い活動が出来るように見直し、進めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援方法や活動に対しては毎日打ち合わせを行い、活動内容や担当職員を変えるなど工夫を凝らし、固定化されないように配慮しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・長期休暇中には、事業所で過ごす時間の長さや利用児童の個性にも配慮し、適切な療育内容を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画を作成するにあたり、個別・集団の活動を組み合わせながら利用児童の特性に合わせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、利用される利用児童に合わせた支援内容や方法について、常に職員間で話し合いを行っています。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		職員間で支援終了後、送迎などで終了時に難しい場合は翌日など、随時振り返りや話し合いを実施しています。気付きは全職員に周知しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日行われた支援内容について必ず記録を残しています。また、必要に応じて振り返りや気になる所を職員間で話し合っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングを定期的に行い、支援計画と照らし合わせながら見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		療育プランは利用児童の個性に配慮したのですが、ガイドラインに沿った基本活動を組み込んだ内容となっています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		職員間で協議し出席者を選定しています。会議前には利用児童の状況を話し合い、担当者へ伝えています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校の担任や対応される先生方への面談や連絡を積極的に行っています。必要に応じて様子や支援について確認し、学校からもいつでもご連絡を頂ける体制を整えています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		必ずかかり付けの医療機関を確認し保護者様からの健康状態の確認を行っています。今の所、医療的ケアが必要な利用児童はいませんが、引き続き体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		事前に少しでも情報共有し、支援が途切れる事が無いように配慮し、話し合いの機会を設けています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		関係機関や保護者様への連絡、相談について出来る限りの情報提供を行っています。また、保護者様からの要望で、病院への提出書類の記入についても行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		地域の会議や研修に積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域の行事などに参加し、交流できる機会を作るよう努力しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		定期的開催される地域の会議に参加しています。また、事例検討も会議の中で積極的に発信し、得られた色々な意見や情報を支援に活かしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳でお伝えし、共通理解に努めていますが、状況に応じて電話連絡や自宅訪問も行っています。家族支援も重要だと考えていますので、いつでも相談出来る体制も整えています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者様に対して、お役に立てるよう声かけや助言を行っています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			必ず契約前に運営規定、支援内容、負担等について説明して胃ます。また、変更時やお問合せ頂く際には、解り易く丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様が気軽に相談をしやすい雰囲気、話しやすい環境作りに努めています。事業所だけに留まらず、ご家庭での支援も重要だと考え、相互協力で利用児童への支援ができるよう配慮しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者参加型の行事を開催し、連携や交流が出来るように努めています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			今の所苦情等はございませんが、何かあれば迅速に対応出来る環境を整え、契約時に周知しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動状況をホームページで発信するとともに、今年度より全社と事業所両方で会報を発行していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			保管に関しては、書庫に施錠し、常に細心の注意を払っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡手段を選ばず、保護者様のご事情に適した伝達手段を行い、少しでも迅速に深く意思疎通が出来る様に配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			定期的に地域の方々と一緒に行える行事を企画し、交流が実現しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定し、事業所内の解り易い場所に掲示し、閲覧出来るようにしています。また契約時にも説明を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防火管理責任者を配置し、消防と連携し定期的に避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			入社後には必ず研修へ参加しています。また社内勉強会や虐待についての話し合いも定期的に行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護する為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			事前にアレルギー等についての聞き取りを行い、少しの間違いも起きない様に室内に掲示し、職員間で共有しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例はファイルを作成し、事例を職員会議で発表し、意見交換、対応策を協議し。都度推進しています。